

4 調査、予測及び評価の項目

4.1 項目の選定

大河津分水路の改修事業における環境影響評価の項目を表 4.1-1 に示します。

表 4.1-1 大河津分水路の改修事業における環境影響評価の項目

環境要素の区分				整備メニュー					土砂運搬関連工事		
				新第二床固	野積橋架替	山地掘削	第二床固切り下げ	低水路拡幅	堤防浸透対策	高水敷整正	高水敷運搬路
環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	大気環境	大気質	粉じん等	△	△	△	△	△	△	△	△
			窒素酸化物	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
		騒音	騒音	△	△	△	△	△	△	△	△
			落水音	●							
	振動	振動	△	△	△	△	△	△	△	△	
	水環境	水質	土砂による水の濁り	△○	△	△		△	△	△	△
			富栄養化	×							
			溶存酸素量	×							
			水素イオン濃度	▲	▲						
		底質	水底の泥土	○							
	地下水の水質及び水位	地下水の塩素イオン濃度					×				
		地下水の水位	×				×				
	土壌に係る環境その他の環境	地形及び地質	重要な地形及び地質	○	○	○	○	○	○	○	○
			海浜地形	●				●			
地盤		地下水の水位の低下による地盤沈下	×				×				
生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	動物	重要な種及び注目すべき生息地	△○	△○	△○		△○	△○	△○	△○	
	植物	重要な種及び群落	△○	△○	△○		△○	△○	△○	△○	
	生態系	地域を特徴づける生態系	△○	△○	△○		△○	△○	△○	△○	
人と自然との豊かな触れ合いの確保を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	景観	主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観	○	○	○	○	○	○	○	○	
	人と自然との触れ合いの活動の場	主要な人と自然との触れ合いの活動の場	△○	△○	△○	△○	△○	△○	△○	△○	
環境への負荷の量の程度により予測及び評価されるべき環境要素	廃棄物等	建設工事に伴う副産物	△	△	△	△	△	△	△	△	

注) 1. △工事中 ○存在・供用：主務省令における参考項目、技術指針における標準項目のうち、環境影響評価の項目として選定するもの

▲工事中 ●存在・供用：主務省令における参考項目、技術指針における標準項目ではないが、環境影響評価の項目として選定するもの

×：主務省令における参考項目、技術指針における標準項目のうち、環境影響評価の項目として選定しないもの

注) 2. 主務省令：「堰事業に係る環境影響評価の項目並びに当該項目に係る調査、予測及び評価を合理的に行うための手法を選定するための指針、環境保全のための措置に関する指針等を定める省令」（平成 10 年 6 月 12 日公布 厚生省・農林水産省・通商産業省・建設省令第 2 号）、「放水路事業に係る環境影響評価の項目並びに当該項目に係る調査、予測及び評価を合理的に行うための手法を選定するための指針、環境保全のための措置に関する指針等を定める省令」（平成 10 年 6 月 12 日公布 建設省令第 12 号）

技術指針：「新潟県環境影響評価技術指針」（平成 12 年 4 月 21 日告示第 831 号）

4.2 項目の選定理由

大河津分水路の改修事業における環境影響評価の項目として、選定する理由を表 4.1-2 に、選定しなかった理由を表 4.1-3 に示します。

表 4.1-2 環境影響評価の項目の選定理由 (1/2)

環境影響評価の項目			選定した理由
環境要素の区分		影響要因の区分	
大気質	粉じん等	工事の実施	建設機械の稼働に伴い粉じん等が発生し、地域の生活環境への影響が生じる可能性があります。
	窒素酸化物	工事の実施	建設機械の稼働に伴い窒素酸化物が発生し、地域の生活環境への影響が生じる可能性があります。
騒音	騒音	工事の実施	建設機械の稼働及び工事用車両の運行に伴い騒音が発生し、地域の生活環境への影響が生じる可能性があります。
		土地又は工作物の存在及び供用	新第二床固からの落水
振動	振動	工事の実施	建設機械の稼働及び工事用車両の運行に伴い振動が発生し、地域の生活環境への影響が生じる可能性があります。
水質	土砂による水の濁り	工事の実施	工事の実施に伴い水の濁りが発生し、人の健康や生活環境への影響が生じる可能性があります。
		土地又は工作物の存在及び供用	新第二床固の存在に伴う流況の変化により水の濁りが発生し、人の健康や生活環境への影響が生じる可能性があります。
	水素イオン濃度	工事の実施	コンクリート工事に伴いアルカリ排水が発生し、人の健康や生活環境への影響が生じる可能性があります。
底質	水底の泥土	土地又は工作物の存在及び供用	新第二床固の存在に伴う水底の泥土が堆積し、河積の縮小、生態系及び水質への影響が生じる可能性があります。
地形及び地質	重要な地形及び地質	土地又は工作物の存在及び供用	土地又は工作物の存在等により重要な地形及び地質への影響が生じる可能性があります。
	海浜地形	土地又は工作物の存在及び供用	土地又は工作物の存在等により海浜地形への影響が生じる可能性があります。
動物	重要な種及び注目すべき生息地	工事の実施	工事の実施による騒音、水質の変化等、土地又は工作物の存在等により重要な種及び注目すべき生息地への影響が生じる可能性があります。
		土地又は工作物の存在及び供用	
植物	重要な種及び群落	工事の実施	工事の実施による水質の変化等、土地又は工作物の存在等により重要な種及び群落への影響が生じる可能性があります。
		土地又は工作物の存在及び供用	

表 4.1-2 環境影響評価の項目の選定理由 (2/2)

環境影響評価の項目			選定した理由
環境要素の区分		影響要因の区分	
生態系	地域を特徴づける生態系	工事の実施	工事の実施による騒音、水質の変化等、土地又は工作物の存在等により地域を特徴づける生態系への影響が生じる可能性があります。
		土地又は工作物の存在及び供用	
景観	主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観	土地又は工作物の存在及び供用	土地又は工作物の存在及び供用により主要な眺望点、景観資源及び眺望景観への影響が生じる可能性があります。
人と自然との 触れ合いの活動の場	主要な人と自然との触れ合い活動の場	工事の実施	工事の実施による騒音、水質の変化等、土地又は工作物の存在等により主要な人と自然との触れ合いの活動の場への影響が生じる可能性があります。
		土地又は工作物の存在及び供用	
廃棄物等	建設工事に伴う副産物	工事の実施	工事の実施に伴い建設副産物が発生する可能性があります。

表 4.1-3 環境影響評価の項目の選定しなかった理由

環境影響評価の項目			選定しなかった理由
環境要素の区分		影響要因の区分	
水質	富栄養化	土地又は工作物の存在及び供用	新第二床固による湛水量はわずかであり、河川流水による回転率が大きく、長期に滞留することはない。
	溶存酸素量	土地又は工作物の存在及び供用	
地下水の水質及び水位	地下水の塩素イオン濃度	土地又は工作物の存在及び供用	新第二床固より上流は湛水域となり、塩水遡上は生じない。
	地下水の水位	土地又は工作物の存在及び供用	堰堤の位置は大きくは変わらず、河川水位の変化はごく僅かであることから、地下水の水位の変化は想定されない。
地盤	地下水の水位の低下による地盤沈下	土地又は工作物の存在及び供用	低水路拡幅により地下水位の低下は想定されない。